

登録医療機関ご紹介

西春内科・在宅クリニック

一般内科・在宅診療

いつも、
いつでも、
いつまでも。

「夜間・休日でも安心して、
ご自宅でお過ごし頂きたい」

夜間・休日でも対応出来るよう
体制を整えております。

当院は北名古屋市西春駅から徒歩7分にある西春内科・在宅クリニックです。『内科外来』と、ご自宅や高齢者介護施設で診察する『夜間休日対応/救急往診・在宅診療』を行います。小さな悩みから何でもお気軽にご相談頂けるようなかかりつけ医として、地域住民の皆様のお役に立ちたいと思います。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00-12:00	●	—	●	●	●	●	—
15:00-18:30	●	—	—	●	—	—	—

火曜午前午後と金曜午後は、訪問診療のため現在休診とさせていただきますが、電話は可能です。また、予約であればいつでもできる「WEB予約」がスムーズです。
※訪問診療の都合上、診療開始が遅れる可能性があります

〒481-0041 愛知県北名古屋市九之坪北浦3 1（メガネ赤札堂の真向かい）



院長：島原 立樹



SNS

※「登録医療機関ご紹介」への掲載希望がございましたら地域医療連携センター佐藤までご連絡ください。

産後ママ向けバランスボールクラスを始めました

当院では、産後ママを対象に
バランスボール教室を開催しています。
運動による代謝力アップ、インナーマッスルの強化、
産後の骨盤のゆがみ改善などが期待できます。
赤ちゃんを連れて参加できるので、
ママ同士の交流の場にもなっています。



体験の様子

この他にも、妊娠期から産後まで
様々なクラスを開講し、チーム一丸となり
新しい家族の始まりを支援しております。



体験の様子

西部医療センター 産婦人科

インストラクター

つねかわ ゆきよ

恒川 幸代

形成外科助教
形成外科医長

※西部医療センターへの電話かけ間違いにより、一般の方へご迷惑をお掛けする事象が発生しております。
ご連絡の際は、電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願い申し上げます。



名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1

TEL: 052-991-8121 (代表)

▼ 地域医療連携センター直通 (診療予約専用)

TEL: 052-991-8145

FAX: 052-856-0049

<https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/seibu/>



西部医療センター地域医療連携 NEWS 2025年8月号
〈編集担当〉地域医療連携センター 佐藤紫帆 浅井瑞葉

名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター 地域医療連携 NEWS



◆目次◆

消化器外科ご紹介	1
手術支援ロボット《DaVinci・hinotori》	2・3
登録医療機関ご紹介《西春内科・在宅クリニック》	4
産婦人科《バランスボールクラスのご案内》	4

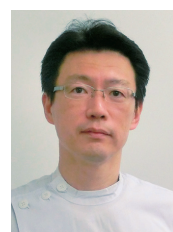
《基本理念》

地域に根差した大学病院として、
高度かつ安心な医療を提供するとともに
優れた医療人を育成します。

患者さんと職員の笑顔がみられる病院



消化器外科のご紹介



みつい あきら

三井 章

院長代行
外科統括部長
中央手術部部長
教授 (診療担当)



たかはし ひろき

高橋 広城

診療科部長
准教授

西部医療センター消化器外科では、主に胃がん・大腸がん・食道がんなどの悪性疾患に対し、体への負担が少ない「低侵襲手術」を積極的に行っています。中でも私たちは、精密で安全性の高い「ロボット支援手術」に力を入れており、これまで多くの手術において「da Vinci (ダヴィンチ)」を使用してきました。このたび、国産の手術支援ロボットである「hinotori (ヒノトリ)」を新たに導入し、2つのロボットを活用することで、患者様の状態に応じた最適な手術を提供できる体制が整いました。消化器外科部長の高橋は大腸癌に対してda Vinciとhinotoriの両方の手術を指導できる資格を有する日本でも数少ない外科医です。ロボット手術は、出血や術後合併症のリスクが少なく、回復が早いことが特長です。これからも患者様に「安全」で「やさしい」医療をお届けできるよう、日々研鑽を重ねてまいります。



低侵襲なロボット手術 da Vinci Xi



hinotori



- ・豊富な実績
- ・デバイスが豊富
- ・導入実績No. 1
(操作慣れした医師が多い)

- ・国産 (日本人向け設計)
- ・現場からの迅速なフィードバック
- ・適応疾患範囲の拡大

手術支援ロボットは こんなところでも活躍!!



当院呼吸器外科では、肺がんをはじめとする肺腫瘍に対してロボット支援手術を積極的に導入しています。高精度な操作により身体的負担を軽減し、安全かつ低侵襲な質の高い手術が可能です。開胸手術と比べて術後の回復も早く、早期の社会復帰が期待できます。経験豊富な医師がチームで治療にあたり、一人ひとりに最適な医療を提供しています。今後は縦隔腫瘍への適応も予定しています。



はねだ ひろし
羽田 裕司
診療科部長
教授（診療担当）

呼吸器 外科



ロボット手術の変遷

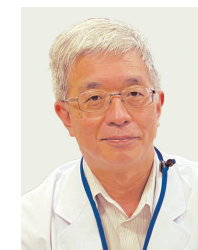
2021年の10月から前立腺全摘除術から開始し、2022年には年間26症例行っております。2023年からは腎摘除術および腎尿管全摘除術を加え、年間32症例行い、2024年からは名古屋市立大学本院から内木准教授が西部医療センターに赴任し、腎部分切除術を加え、年間59症例、そして2025年は丁度半年で40症例の手術を行ってきました。今後も安全な手術を心掛けてまいります。



うめもと ゆきひろ
梅本 幸裕
副病院長
診療科部長・生殖医療センター長
教授（診療担当）

泌尿器科

産婦人科



あらかわ かつし
荒川 敦志
女性腫瘍センター長
診療科部長
教授（診療担当）



産婦人科では子宮筋腫や子宮頸部異形成などの良性疾患を中心にロボット支援下子宮全摘術を実施しております。2022年から開始し年々症例数は増加しており2024年度は年間41例施行しました。ロボット支援下手術は開腹手術に比べ、創部の大きさも小さく、術後の回復も早いので入院期間も短く、患者様の身体的負担を少なくできます。お気軽にご相談ください。

hinotori 消化器外科より 始 動 !!



hinotoriは日本で開発された新しい手術支援ロボットで、消化器外科・呼吸器外科・泌尿器科・婦人科など幅広い分野での低侵襲手術に対応しています。操作性はこれまで主流だった米国製のda Vinciと共通する部分が多く、ロボット手術に精通した医師であればスムーズに使用することができます。最大の特長は「国産」である点です。日本人の体格や医療現場のニーズに合わせた設計がなされており、現場からのフィードバックが迅速に開発に反映されるという強みがあります。現在は消化器がん、肺がん、前立腺がん、子宮疾患などに適応がありますが、今後さらに適応範囲の拡大が期待されます。患者さんにとってより安全で精度の高い手術を提供できるロボットとして注目されています。

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 歯科口腔外科 NEWS

2025

8



平素より当科の診療に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

早いもので、本年4月の新体制発足より4か月余りが経過いたしました。

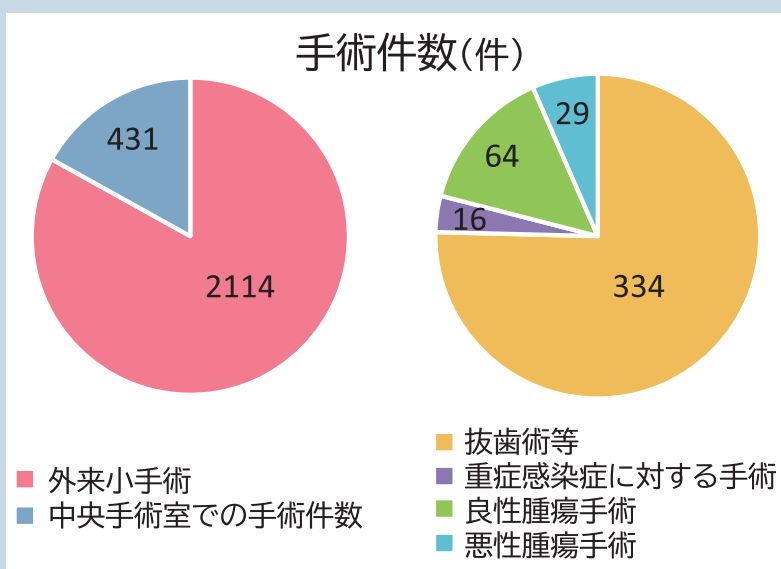
この間も変わらぬご支援を賜り、また日頃より患者様のご紹介や地域医療連携にご尽力
いただいておりますことに、改めて深く感謝申し上げます。

おかげさまで、紹介いただく症例也多岐にわたり、地域における口腔外科的医療ニーズに
お応えすべく、スタッフ一同、日々診療に取り組んでおります。

さて、このたび、令和6年度の診療実績がまとまりましたので、下記の通りご報告申し上げます。

【令和6年度 診療実績】

外来患者総数	18,665人
初診患者数	2,693人 ※紹介率:約80%
入院患者数	500人



患者総数、入院患者数、外来手術件数および中央手術件数のいずれも、前年度を上回る
結果となりました。これもひとえに、日頃よりご紹介くださる先生方のご支援の賜物と、深く
感謝申し上げます。

今後とも、先生方との連携を一層密にし、地域医療に貢献できますよう、スタッフ一同さら
に努力してまいります。

厳しい暑さが続く折、先生方のご健勝と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

